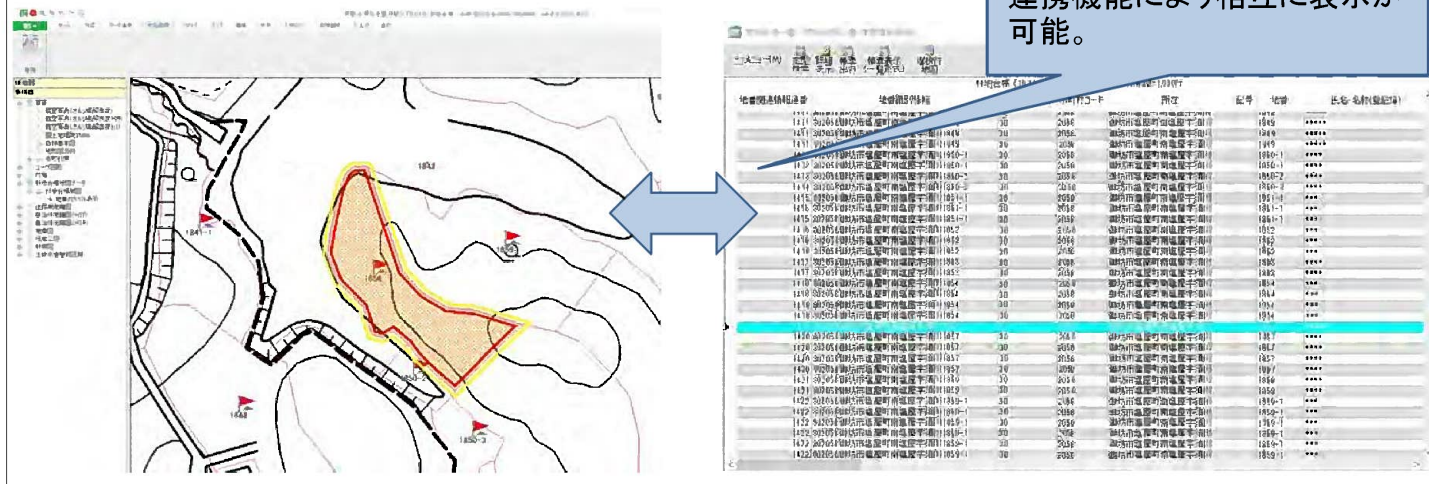




## 取組による効果

水土里情報システムと連携しなければ、地図から台帳データの検索、台帳データから地図への検索には数分かかっていたが、連携することにより数秒で相互に表示が可能となった。

連携機能により相互に表示が可能。

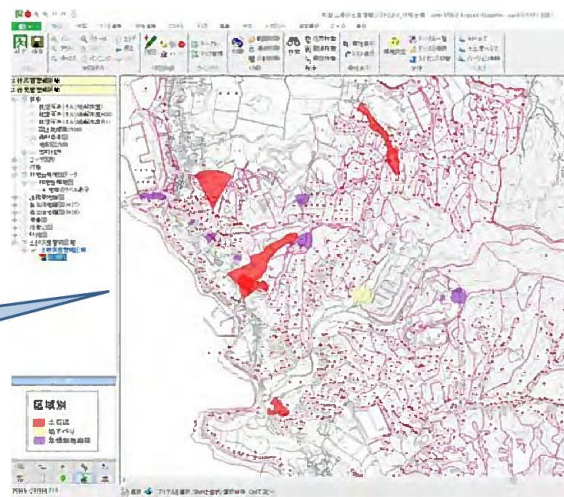


## 今後の活用予定

林地台帳と地図を連携させることにより効率的に土地所有者情報や地図情報を検索することができ、山林所有者へのサービス向上にもつながることが期待できる。なお、水土里情報システムでは、オルソ画像、地籍図等何層もの表示が可能で、土砂災害警戒区域のデータを重ねて危険区域が確認できる等の災害予防対策にも活用していきたい。

また、水土里情報システムは、費用等安価で管理できることから、林地台帳のGIS化がまだの市町に推進していく予定である。

データを重ね合わせることで災害予防対策も可能。



## GISシステムのバージョン情報

GISエンジン : SIS9.0 SR2

GISアプリ : 水土里Maps Ver 9.0

## ■お問い合わせ先

和歌山県土地改良事業団体連合会 技術情報課 073-432-2567